

## 会 議 録

会議名	第5回富士見市歯科口腔保健推進委員会	
開催日時	平成26年6月24日（火）午後1時30分～3時20分	
開催場所	富士見市役所 市長公室	
出席者名	委員：大渡 廣信委員長、三木 とみ子副委員長、是永 國彦委員、長堀 厚子委員、苗代 明委員、西 和江委員、広瀬 幸樹委員 事務局：久米原健康増進センター所長、銘苅健康増進センター副所長、相原健康づくり支援係主査、樋口主任、山口	
欠席者名	委員：荒木 悦二委員、加治 茂幸委員、富岡 明子委員、二川 明子委員、宮 陽一委員	
傍聴者	1名	
次第	1 開会 2 委員長あいさつ 3 審議 4 その他 5 閉会	
議事内容		
1 開会		
2 委員長あいさつ (富士見市歯科口腔保健推進委員会条例第6条2項に基づき、委員の過半数の出席により本日の委員会の成立について報告)		
3 審議		
(1) 富士見市歯と口腔の生涯健康づくり条例の制定について ・事務局より条例の制定について報告する		
委員長	条例の成立後の取り組みが大事である。 今後、媒体の利用など市民にどのような周知が一番効果的であるのかを検討していきたい。	
(2) 仮称 富士見市歯科口腔保健推進計画（案） 第1章～第2章について		
■計画の概要 ・事務局より計画の概要・構成について説明する		
委員	この計画の対象はどこに向けているのか。	
事務局	条例で責務を規定している市民や行政・各関係団体それぞれが見てわかりや	

委員	すいものとしていきたい。各対象者が関連する箇所をみて認識を深め、実践できるようライフステージを規定している。
事務局	計画を啓発資料として考えているなら、もう少しわかりやすく記載した方がよい。今後評価目標は記載するのか。
委員	本日資料として用意していないが、今後計画の最後に委員会で審議いただいた目標値を掲載する予定である。
委員	計画に記載してあることはわかるが、市民にはわかりにくいし、計画を全部読んでほしくないと思う。リーフレットのような形に集約されるとよい。
事務局	計画と市民に読んでいただくものは別に作る予定か。
委員	委員会で審議いただいた結果により検討していきたい。
事務局	計画自体は必要なので、わかりやすく集約したものを別で作成するとよい。
事務局	計画とは別に、計画の概要版を作成する。詳細については、今後の委員会で審議をお願いします。
<b>■第1章 計画の策定にあたって</b>	
委員	全体的に『ライフステージ』という言葉が出てくるが、わかりやすくよい。
委員	第1章 2 基本的な方針の2.『それぞれの時期』という言葉、キーワードである『ライフステージ』にしてもいいのではないかと思う。
事務局	条例の第3条の基本理念では『それぞれの時期』という記載であるため、ここは条例にあわせた記載でよいと思う。
事務局	条例にあわせた『それぞれの時期』という記載とする。
<b>■第2章 富士見市の歯科口腔保健に関する現状と課題</b>	
1 富士見市全体でみた現状と課題	
委員	「富士見市国民健康保険医療費の推移」の図表では、被保険者が減っているのになぜ医療費総額が上がっているのか。
委員長	人工透析などに代表されるように疾病が重症化してから医療にかかることと、高齢化が進んでいることにより医療費が増えているためだと考えられる。
委員	第2章については、歯科検診を受ける割合が低いことと8020運動を知らない者が課題だと考えているのか。
事務局	第2章については2つの章立てで見えており、その2つの章についてどのような課題があるかということに記載している。
委員	「富士見市国民健康保険歯科医療費の推移」の図表では、件数も増加し、医療費総額と同様に歯科医療費も増加しているのに、1件当たり医療費が下がっているのはどうしてか。保健適応外診療が含まれていないからか。
委員	件数が増えているということは受診している方が増えており、そのため歯科医療費が増加していると考えられる。保健適応外診療は含まれないが、1件あたりの医療費が下がっているのは軽度のうちに受診している方が増えていることをあらわしていると考えられる。
委員	課題に医療費を入れるのがわからない。1回で終了する治療と継続する治療の医療費を分けて考えるのなら別だが、件数と歯科医療費の増加が意識の

委員	高い方が軽度のうちに受診していると考えたと予防とも取れるので。
委員	第2章の課題を②食育・歯科保健アンケートからの状況から導きだしているが、課題に①富士見市国民健康保険医療費の状況も含めた方がよいのではないかな。
事務局	①富士見市国民健康保険医療費の状況を年代別でみていけるとよいのではないかな。
事務局	①富士見市国民健康保険医療費の状況については、委員会での審議結果から担当課に照会し検討した上で、今後の計画に記載するかどうかを検討させていただくこととする。
委員	食育・歯科保健アンケートとはなにか。
事務局	平成24年6～10月に実施した食育・歯科保健に関する意識調査のためのアンケートである。対象は市民で、学校や任意団体を通じて、小学校5年生・中学校2年生・乳幼児の保護者・成人に対して実施。1344件の回答があり、単純集計したもののうち、歯科保健に関係のあるものを抜粋して計画に掲載した。
委員長	「毎年歯科健診を受けている者の割合（全体）」の図表のうち、『該当外』となっているのはどういう意味か。
事務局	『該当外』とは、年代などの基礎的な質問項目が未記入の回答などである。
<b>■第2章 富士見市の歯科口腔保健に関する現状と課題</b> <b>2 ライフステージ別でみた現状と課題</b> <b>(1) 妊娠期・胎児期</b>	
委員	表題の『妊娠期・胎児期』とは、妊娠中は妊娠期で、子どもが生まれたら胎児になるのか。
事務局	妊娠中の母親の歯の管理と、妊娠中にできる胎児の歯(歯胚 <sup>しはい</sup> )という両方の意味から同ステージとしている。
委員	表題として『胎児期』をいれるなら、胎児の歯ができる時期という説明を文章化した方がよい。
委員長	妊娠中から子どもの歯は始まっている。妊娠中の口腔環境の不衛生は早産につながるというデータもある。
委員	ここでは、妊娠中はホルモンバランスなどによりリスクがあること、妊娠中に治療や健診を受けること、栄養状態を整えることが課題としてポイントである。この時期の課題を受診、口腔ケア、栄養状態という風に整理して記載した方がよい。
委員長	課題を箇条書きにした方がよい。口腔内環境と早産についても盛り込めるとよい。
事務局	審議していただいた内容を検討し、次回委員会に修正したものを提示させていただく。
<b>(2) 乳幼児期</b>	
委員	表題の『乳幼児期』というのは、家庭の保護者と保育所(園)・幼稚園などの

事務局	保育施設が対象となるのか。
事務局	双方が対象となる。
委員	保育施設では健診はしているのか。
委員	保育所（園）でも幼稚園でも健診をしている。指導については園により差がある。
委員	富士見市の場合は、保育施設での指導をカバーすると歯科保健がもっとよくなるのではないか。
委員	富士見市の市立保育所全6か所では昼休みに歯みがきをしていたのだが、他の自治体の保育施設で事故が起こったのをきっかけに、今はうがいだけになっている。条例をきっかけとして歯みがきがまた再開するとよい。幼稚園は4, 5, 6歳からわりと歯みがきをしている。
委員	課題に甘い物の食べ方が出ているが、保育所（園）で考えると歯みがきについては課題があるが、甘い物がしょっちゅう間食できる環境ではないため相反すると思うが。
委員	乳幼児の食、いわゆる間食はむし歯発生の大きな要素だと思う。おやつを食べ方と、うがいや歯みがきの仕方など、そういうやり方を工夫することが取り組みになると思う。
委員	入園前はだらだら食べをしない、保育所（園）などの施設ではうがいをするのが課題か。ここに記載する課題も箇条書きにした方が見やすい。
委員	この時期の子どもは1人では歯を磨ききれない。小学校に入学しても難しいので、保護者の目や保護者磨きが必要。
事務局	審議していただいた内容を検討し、次回委員会に修正したものを提示させていただく。

### (3) 学齢期

委員	歯肉炎が増え、低年齢化しているといわれているがどうか。
委員	している。部分的にしろきちんと診れば4割近くは該当する。
委員	計画では、むし歯も歯肉炎も低い状況と書いてあるが。
委員	課題としては、一般化した問題としてある。
委員	歯肉炎とはどういう状態なのか。ブラッシングが足りないことでのなるのか。
委員	ブラッシングができていないとなる。低年齢でも生じる。
委員長	指導は行っているが、ブラッシングは家庭によって差が出る。むし歯の場合は染めだしを行って汚れを認識してもらえるが、歯肉炎については気づいてもらいにくいところかもしれない。
委員	歯肉の形や染めだしの状態など観察ポイントをワンポイントとして学校で指導できるとよいのかもしれない。 学校保健安全法の第9条に保健指導について書かれているが、養護教諭と校医が連携して取り組んでいくもの。歯科保健は最も取り組みやすい分野なので、歯肉炎をきっかけに歯の健康に取り組んでいくことでもうまくいくのではないかと感じた。

委員	富士見市はよいところもあるけれど、さらに改善させるにはワンポイントでどうしたらよいかを記載していくとよい。
委員長	中学校の指導が難しいと聞いている。
委員	小学校で習慣づけて、中学校でも磨かずにはいられない習慣をつけられるとよい。
委員	学齢期では未処置歯が非常に多いことが課題の1つ。むし歯のある者の割合も課題である。計画で、1人平均むし歯数のデータを出し、学年別に比較してみるとはっきりわかると思う。小学4, 5, 6年生と中学生。特に中学生が課題であると思う。
委員	むし歯は難しいが、歯肉炎は自己コントロールで治せるので、そこが健康づくりの基本だと言えると思う。計画のデータにはGO（歯周疾患要観察者：歯肉炎の前段状況）が入っていないのではないか。もし入れば変わると思う。
委員長	GOが入ったデータも集めてはどうか。
事務局	審議していただいた内容を検討し、次回委員会に修正したものを提示させていただく。GOについてはデータを新たに追加する。
(4) 成人期	
委員長	「富士見市成人歯科健診受診者の健診結果の推移」の図表をみると、要治療の人が非常に多い。口の中が悪くても自覚症状がない場合が多い。今後の取り組みが重要。
委員	成人期は仕事が忙しいことも影響している。そのような生活習慣の中でも“歯は大事”という意識を啓発する必要がある。
委員長	歯については関心をもってもらいにくい。成人の時期に歯周病やむし歯を訴えるのは非常に難しい。
委員	成人歯科健診受診者全体のデータが示されているが、年齢別の受診者の割合などがわかるか。
事務局	わかる。
委員	どの年代をターゲットに健診の周知を行うかなどの検討のため、年代別にまとめた方がよい。
事務局	審議していただいた内容を検討し、次回委員会に修正したものを提示させていただく。年代別データについては新たに追加する。
(5) 高齢期	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より本日配布した資料で提示したデータを、次回委員会までにすべて新しいデータに差し替えることを説明する。差し替えデータとして、「高齢者実態調査」から抜粋したデータを使用する予定。</li> <li>次回委員会での審議をお願いしたい。</li> </ul>	
(6) 障がい者・要介護者	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より本日配布した資料で提示したデータ「富士見市在宅療養者訪問歯科保健事業利用者の推移」を、次回委員会までに新たなデータに差し替えることを説明する。差し替えデータとして、「富士見市在宅歯科医療調査」を使用する予定。</li> </ul>	

次回委員会での審議をお願いしたい。

#### 4 その他

- |     |   |
|-----|---|
| 委員長 | 課題を箇条書きにするとよい。  |
| 委員  | 課題は、サブタイトルを箇条書きにしても書いてもよい。  |
| 事務局 | 次回までに修正する。次回の委員会では、修正した現状と課題、施策について審議いただけるよう準備したい。  |
| 委員  | 目標を定めて現状を把握する方法もある。健康づくり審議会でアンケートを実施する予定であるため、市民にむけた意識調査が行えるとよい。  |
| 事務局 | 健康づくり審議会では、健康づくり全体の計画を平成27年度作成し、平成28年度から施行する予定で作業を進めており、その中でアンケートを行う予定である。アンケートは今年度中に実施予定なので、反映できるものがあれば盛り込んでいきたい。                          |
| 委員長 | 今後の日程の調整<br>・第6回委員会は、7月23日（水）午後1時30分～3時30分<br>健康増進センターを会場に開催すること確認。<br>次回の検討資料については、開催通知と共に事前に送付予定。<br>・第7回委員会は、8月26日（火）午後1時30分～3時30分 開催予定。 |

#### 5 閉会